



現代の青少年へのアウトリーチ・支援講座事業 報告書

# アウトリーチ研修

*What is outreach?*  
*Outreach Training (Direct contact type)*

名古屋市社会福祉協議会（地域福祉リーディングモデル事業助成事業）  
助成：この冊子はリーディングモデル事業助成により作成されています

Copyright (C) 2018 特定非営利活動法人全国こども福祉センター All Rights Reserved.

# 貧困ビジネス...支援のミスマッチ アウトリーチの質とスタンスに拘る

全国こども福祉センター  
理事長 荒井和樹

内閣府は平成22年度からニート・ひきこもり、不登校等の社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者支援に携わる人材養成のため「アウトリーチ（訪問支援）研修」を開始しました。しかし、アウトリーチ4類型のうち、なぜか直接接触型だけは研修内容に具体的な方法が組み込まれておらず、実習先もほとんどがひきこもり支援機関となっています。福祉分野では「訪問」「手をのばす」「届ける」という意味で使われていますが、対象が「**困難を抱えている子ども若者**」と限定されることにより「**問題が表出化してから**」「**困ってから**」アウトリーチを実施するという、**予防とは真逆な後手の対応**となっています。少子化にもかかわらず課題を抱える子ども若者は増加しているのは何故でしょうか。

従来の担い手養成に危機感を抱え、わたしたちは「実践」と「予防」に特化した研修を26年度から実施してきました。27年度からはリーディングモデル事業として名古屋市社会福祉協議会から採択、平成29年度には子ども貧困対策事業として子供の未来応援国民運動事務局（内閣府・厚労省・文科省・日本財団）より選定されました。

申請は全国から535団体で、「その他貧困の連鎖を解消する事業」として選定されたのは11団体（2%）。国内屈指のアウトリーチ職人の養成所として一定の成果を挙げました。

実習

実習班による現場実習



考える、実践する

演習

実習班による演習



つなぐ、協力する

実践

実践を繰り返すことで  
得られる実践知



交流

研修生と卒業生の  
ネットワーク



# アウトリーチ研修報告

平成26年度～アウトリーチに参加するボランティアのスキルアップを目的として研修を開始。27年度から市社協リーディングモデル事業に選定され、10～80代（のべ）**991名**にアウトリーチ教育を実施しました。

名古屋社会福祉協議会地域福祉リーディングモデル助成事業による実績（のべ873名）平成27～29年度

平成26年度 自立支援マネージャー養成講座		
26 年 度	受講者	118
	認定数	6
	講座数	12
	実習	任意
	期間	6カ月

多数のアウトリーチに参加する学生（ボランティア）、見学者が出入りすることからスキルアップを目的に実施したが一般公開として開く。実習は任意で実施した。何度も足を運ぶ受講生が、青少年から信頼を得てアプローチの成功率も高くなっていった。



マスコミが殺到した27年度

平成27年度 アウトリーチ（直接接触型）研修		
27 年 度	受講者	560
	認定	6
	講座数	20
	実習	I II
	期間	1年
受講者 年代	10～80代	

川崎中一男子殺害事件、大阪中一男女殺害事件など少年事件が相次ぐ。社会は混乱。本研修に注目が集まり多数のメディアで報じられた。受講者数は最も多く、SSW（スクールソーシャルワーカー）も受講。自立支援マネージャー認定者が一部の講座を務める。座学ではアウトリーチや組織運営の手法を学び、実習Iは青少年とのつながりを作るための実践（路上実習）。実習IIはコミュニティ（資源）づくりを行った。実習IIで蹟く班が多く、継続的にかかわる覚悟、信頼関係の有無が好結果をもたらした。



最高評価をつけた実習班

平成28年度 アウトリーチ（直接接触型）研修		
28 年 度	受講者	173
	認定数	4
	講座数	18
	実習	I II
	期間	1年
受講者 年代	10～50代	

27年度に引き続き座学でアウトリーチの意義、子ども若者支援に必要な講座を実施。28年度は一期生が実習担当に。実習Iはゼロから青少年とのつながりを作るための実践（路上実習）。実習IIは受け皿となる資源（コミュニティ）づくり。昨年度、子どもを一人も呼べない班が続出したため、28年度は事前に企画書を提出の上、実習に挑む。すべての班に担当者が伴走。実習IIを遂行するなかで、事前にアウトリーチ・ポイントを抑えた班による企画で繋がりが、現在も継続している。



平成29年度 アウトリーチ（直接接触型）研修		
29 年 度	受講者	140
	認定数	
	講座数	25
	実習	I II III
	期間	1年
受講者 年代	10～50代	

大幅にブラッシュアップ。座学でアウトリーチの意義、子ども若者支援に必要な講座を実施するが、29年度から、それぞれの課題意識のもとアウトリーチを設計。それをもとに実習Iを実施。非行少年へのアプローチに限定せず、受講者の課題意識に寄り添う。実習IIは実習先の一例として、路上実習を実施。実習IIIは青少年のコミュニティ（資源）づくりを企画。各実習に演習時間を設けたが、計画的に実習を行えた班と、実習IIIが実施できない班もあった。

子ども食堂×アウトリーチから、みえてきたものは？



「支援」って何？  
「ボランティア」って何？

問う、実践する

実践ふくし大学

リーディングモデル  
国内普及プログラム

# 大学概要

「実践ふくし大学」では、実践者が集い、従来の一方的な講義形式ではなく対話を重視しています。

“私たちがつくりたい未来”へ

全国こども福祉センターでは、平成26年度からアウトリーチの視点を取り入れた研修講座・講演を行ってきました。実践に基づいた講義・演習・実習を実施するなかで、研修の集大成、卒業生企画として設立に至ります。実践ふくし大学の先生は実務家、全員がフィールドを持っています。

※「実践ふくし大学」は学校教育法に定められた教育施設ではありません。

## 講師・ゼミ紹介

実践ふくし大学 平成30年度アウトリーチ（直接接触型）研修 ゼミナール紹介

	講師名	社会での活動・職業・資格・学歴等	キーワード／（類型）	受講要件	メッセージ・受講要件など
1	平澤恵美 （副学長）	同朋大学准教授 NPO法人なかよし	精神保健 マイノリティー 地域福祉 ／（関与継続型）	同朋大学 （名古屋市中村区） に来れる方	地域で生活するマイノリティーに対する理解を通して、人権について考え、アウトリーチの意味について共に考えましょう
2	松尾祐輔	全国こども福祉センター 保護観察官・大阪大学法学部卒	少年非行 司法福祉 予防 ／（直接接触型）	主に土曜夜、 名駅付近の活動に 参加できる方	司法福祉の視点から実践を行います。 学生と共に学ぶゼミです。
3	新美晃代	おっかわちょっこり代表 保健師・看護師・保育士	子育て支援 地域福祉 予防 ／（機関連携型）	半田市乙川地区 のフィールドワーク に参加できる方 定員：2～3名	子どもと触れ合うだけでなく、地域でアウトリーチ活動をする際に、一緒に活動をする大人をどう巻き込むか、育ちの環境を整えるとはどういうことかについて考えます。
4	田中和快	竹の子ボランティアサークル 社会福祉協議会	コミュニティワーク 子ども食堂・子ども会 ボランティア ／（機関連携型）	名古屋市中村区の フィールドワーク に参加できる方 定員：3～4名	若者の手による子ども食堂運営、生活支援の実践から、子ども若者を福祉の受け皿から担い手に導く手法について考えます。
5	塚本こず恵	NPO法人びすたーり經理	ピアサポート ひきこもり パーソナルブランド ／（関与継続型）	名駅近郊、又はインター ネット上のフィールド ワークに参加できる方 定員：2～3名	人それぞれが持つ思いや強みを活かしたアウトリーチの手法と一緒に考えませんか、ここから一緒にはじめられる人を募集します。
6	荒井和樹 （学長）	全国こども福祉センター理事長 日本福祉大学・同朋大学非常勤講師 給付型奨学金ソーシャルワーカー 社会福祉士・保育士	デタッチドワーク 性産業 社会的養護 ／（直接接触型）	定員：2名	サポートの立場でかわりながら アウトリーチ・デタッチドワークの違いを 学びます。
7	黒川美津紀	全国こども福祉センター 現役学生スタッフ	不良行為（虞犯） ピアサポート 自殺予防 ／（直接接触型）	名駅ラポに 来れる方	学生と共に学ぶゼミです。

※（ ）は学べるアウトリーチの類型を示しています。



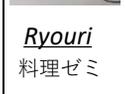
**Emichan**  
えみゼミ



**Matsuo**  
松尾ゼミ



**Teruchan**  
新美ゼミ



**Ryouri**  
料理ゼミ



**Tsukapon**  
塚本ゼミ



	講師名	社会活動・職業資格学歴等	担当科目
ス ク ー リ ン グ 講 師	酒谷佳紀	名古屋大学大学院理学研究科 （前期課程）修了 三菱電機株式会社	設計・調査 （特別ゼミ）
	伊藤加奈子	産婦人科医・ココカラウィメンズクリニック院長 NPO法人ウーマンリビングサポート代表理事	思春期の性をめぐる 現状と課題
	伊藤正明	日本福祉大学専任助教 全国こども福祉センター理事	実習概論
	田中和快	竹の子ボランティアサークル 社会福祉協議会	ボランティア概論
	荒井和樹	全国こども福祉センター理事長	アウトリーチ概論 サイバー福祉概論



酒谷先生



伊藤加奈子先生

平成30年度

# アウトリーチ（直接接触型）研修

## 「実践ふくし大学」 アウトリーチ研修×アフターフォロー

子育て支援や社会的養護の拡充に伴い、アウトリーチの意義、スキルの必要性は広く認知されていくなかで、各現場で「どのように対象に支援を届けていくのか」アウトリーチの視点を取り入れていくのが試行錯誤されていることと思います。

本研修では、アウトリーチスキルを学ぶことで社会を分析する力を養い、机上では学べない部分である「実践」に着目して、各現場の実践者・職人によるゼミ教員と共に学びます（ゼミ教員の全員が、現在もフィールドで活動されている方です）

*What is out reach? ?*

前期 5～9月

後期 10月～2月

受講生 募集・選抜	開講式 教員紹介	座談会 所属先決定	全体 スクーリング	後期生募集 数名のみ	全体 スクーリング	後期生合流	全体 スクーリング
4月	5月13日	6月～7月	8月12日	9月～10月	11月11日	12月～1月	2月10日 3月

オリエンテーション

ゼミ活動開始

ステップ	1. テーマの設定	2. 設計と実践	3. 実践と評価	4. スキルの活用、向上
研修生の動き	テーマの設定 教員との座談会、対話	所属先決定 報告準備、報告、交流	各ゼミ活動（フィールドワーク・実践） 他ゼミ・テーマから学び、実践に活かす	

※ 各教員が開催する座談会に出席し、所属希望先を6月末までに事務局まで提出。7月上旬にゼミ決定。8月スクーリング時に顔合わせ。

スクーリング会場：ウィंकあいち（〒450-0002 名古屋市南村区名駅4丁目4-38）名古屋駅から徒歩2分

全体スクーリング（第2日曜）13：15～受付 一般公開（受講生は参加費不要）						
5/13 11階1110	開講式・事務連絡 思春期の性をめぐる 現状と課題 教員紹介講座	松尾祐輔 伊藤加奈子 ゼミ教員	13：25～13：40 13：45～14：45 15：00～16：15 16：20～16：50	11/11 10階1005	後期始業式一事務連絡 ボランティア概論 合同専門演習（ゼミ）中間報告 後期・ゼミ説明会	松尾祐輔 田中和快 ゼミ教員 ゼミ教員
8/12 10階1005	事務連絡 アウトリーチ概論 実習概論 ゼミ活動	松尾祐輔 荒井和樹 伊藤正明 ゼミ教員	13：25～13：40 13：45～14：45 15：00～16：00 16：00～16：50	2月10日 受講生と 希望者のみ 通知	事務連絡 サイバー調査 サイバー福祉概論 合同演習（ゼミ）最終報告	松尾祐輔 荒井 ゼミ教員

※各全体スクーリング：4単位 前期：4単位 後期：4単位（ゼミ教員による評価） 計20単位で卒業

**説明会：2018年3月18日（日）**

**14：30～16：00**

会場：カネジュービル6階 第三会議室  
愛知県名古屋市南村区則武1丁目2-1  
名古屋駅新幹線口河合塾方面（北へ）へ徒歩3分、  
1階がセブンイレブンのビルです（説明会は参加必須  
ではありませんが、別途メール・電話での問い合わせ  
等にはお応えできませんのでご了承ください）

**開講式：2018年5月13日（日）**

ゼミ（月一回）スクーリング8月・11月・2月

定員20名（各ゼミの定員は教員により異なります）

受講料（通年）：12,000円（学生9,000円）

スクーリングのみ（単発参加：1日3,000円）



私たちがつくりたい未来  
実践ふくし大学

※「実践ふくし大学」は学校教育法に定められた教育施設ではありません

*What is our reach?*

実践ふくし大学事務局  
(運営：特定非営利活動法人全国こども福祉センター)  
☎ 052-756-3399    ✉ [pwuunv@gmail.com](mailto:pwuunv@gmail.com)